地区薬剤師会 担当者 各位

公益社団法人東京都薬剤師会

写しの通り、国立がん研究センター中央病院から「薬薬連携を充実させるための研修会開催のご案内」がありました。貴会会員へのご周知をよろしくお願いいたします。



令和4年7月15日

公益社団法人東京都薬剤師会 会長 永田 泰造 様

> 国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 薬剤部長 古川 哲也

第1回薬薬連携を充実させるための研修会の開催について

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より国立がん研究センター中央病院(以下、当院)からの院外処方箋の受入等に関して貴会会員の先生方におかれましてはご厚情を賜り御礼申し上げます。

さて、当院にて開催しております「薬薬連携を充実させるための研修会」におきましては、貴会のご配慮により毎回多くの保険薬局の先生方からのご参加をいただいており感謝申し上げます。

つきましては、令和4年度第1回目(大腸癌)の研修会を令和4年8月26日に開催すべく企画いたしましたので、皆様へご周知いただきたくご案内をお願いする次第です。

多くの皆様にご参加いただけるよう、引き続きご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

<担当者連絡先>

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1 国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 副薬剤部長 橋本 浩伸

TEL: 03-3542-2511 FAX: 03-3248-0730

e-mail: hhashimo@ncc.go.jp

【お知らせ:TULIPプロジェクト】 国立がん研究センター中央病院 薬薬連携を充実させるための研修会

拝啓

盛夏の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より薬薬連携へ多大なるご尽力をいただいておりますこと感謝申し上げます。 さて、今年度も国立がん研究センター中央病院におきまして、薬薬連携をより充実 させていくために、下記のとおり研修会を開催いたします。

新型コロナウイルスをきっかけに開始いたしましたオンライン研修会ですが、薬局と病院の関係構築のための新しいツールとして今後も有効活用しようと思っております。今回もWEB会議のツール (Zoom) を用いたオンライン開催の形式を採らせていただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

記

【テーマ】

大腸がん治療における副作用マネジメント ~抗EGFR抗体薬を中心に~

【日時】令和4年8月26日(金)19時から20時

- 【場 所】ご自宅、ご自身の職場からアクセスできます。(Zoomを使用します) ※お申し込み後に zoom の URL をお送りします。
- 【対象】薬局薬剤師(エリアは制限しておりません)※特に当院の処方箋を応需されている方に有益です。

【参加費】無料

- 【申込み】令和4年7月26日(火)正午よりGoogle Form で行います。 (右側のQRコードからお入りください)
- 【締 切】令和4年8月19日(金)17時まで※定員400名を超えた時点で締切らせていただきます。
- 【内容】全て zoom を使用したオンライン環境で行います。
 - 事前に頂いた質問に対して当院スタッフが代理で医師に質問します。
 - 当院薬剤師からの解説で、実務に使える情報を提供します。
 - 当院の説明資材、情報サイトをご紹介します。

【注意事項】

- オンライン環境はご自身でご用意下さい。また通信費などの費用は負担致しません。
- 端末は PC が好ましいですがタブレットやスマートホンでも参加可能です。





国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 薬剤部

e-mail: hhashimo@ncc.go.jp 担当 (薬剤部副部長 橋本 浩伸) ※お電話でのお問い合わせはご遠慮ください。



第1回 薬薬連携を充実させるための研修会 ~TULIP PROJECT~

(Tsukiji Unit LInk Pharmacists PROJECT)

日時

令和4年8月26日(金)19時開始

オープニング

開会あいさつ

薬剤部 橋本 浩伸

講演①

大腸がん治療における副作用マネジメント

薬剤部 陳美樹

講演②

よくある疑義照会にお答えします

消化管内科 髙島 淳生 先生

情報提供

当院から提供される情報の紹介

薬剤部 渡部 大介

クロージング

閉会あいさつ

薬剤部長 古川 哲也

対 象

薬局薬剤師の先生方

会 費

無料

場所

WEB形式 (ZOOM)

お問い合わせ:

国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 薬剤部

TEL: (03)-3547-5201 e-mail: hhashimo@ncc.go.jp

担当 (薬剤部副部長 橋本 浩伸)

主催: 国立がん研究センター中央病院 薬剤部